
兵器の身体

ケイ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

兵器の身体

【Nコード】

N4534A

【作者名】

ケイ

【あらすじ】

ちせの日記

シュウちゃんへ

ごめんなさい。もうこの交換日記、シュウちゃんには見せれそうにないから見せないつもりで書くね。ごめんね。

あたしはちっさい頃から、病気がちだったの……

…正確に言うなら、『ちっさい頃は』だけどね。

よくわからないんだけど心臓が悪かったみたいなんだ。

…今は最終兵器になっちゃったから心臓なんてもう関係ないんだけどね。

小学生の時にね、あたし東京の病院に入院してたの。何ヶ月も。

心臓の検査で行かなきゃいけなかったんだけど、お医者さんにね、すぐに入院しなさいって言われちゃったんだ。

初めの一週間くらいはすごく不安で泣いてばかりだった。

それから検査の繰り返しで、早く退院したいなあなんてずっと考えてたんだ。

でもね、一カ月くらいたったくらいかなあ。軍人さんがあたしの病室に来たの。

（あたしたちの街に軍の基地があるでしょ？だからあたしでも軍人さんは知ってたんだよ。）

何しに来たんだろうって思ってたなら、教えられたことは、この世界のことだったんだ。

難しいことばかりで、まだ小さかったあたしには何のことなのかわからなかった。

だけどね、「日本はもうダメかもしれない。しかし君なら国民を救えるんだ。」

なんて言われて、実は少しうれしかったんだ。ごめんね。

でも心臓のせいで学校もよく休んでたから友達も全然いなくって…

…必要とされたのがうれしくって…。自分の力が役に立つんだって…。

秘密任務だつて言われたからお母さんにも言えなかったけど、そう思ったから協力するって言っちゃったの。ごめんね。それからまた一か月くらいたって、手術をしたの。最終兵器になる手術。

終わってから不安になっちゃって、軍の人いろいろな聞いてみたの。でも詳しくは教えてくれなかった。

いずれ時が来たら君には働いてもらう、って言ってた。それで退院して、北海道に戻って来たの。

でもこんなことなら協力なんてしなければよかった。ごめんね、シユウちゃん。

あたしがバカだったせいでいろいろ辛い目に合わせて。ごめんね。

ごめんなさい。

あたし…兵器だから…壊すしか出来んから。シユウちゃんを幸せになんて出来ないんだ。ごめんね。

ごめんなさい。

それでも生きていたんだ。

恋をしていたんだ。

ごめんなさい。

— 終わり —

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4534a/>

兵器の身体

2010年10月10日20時40分発行